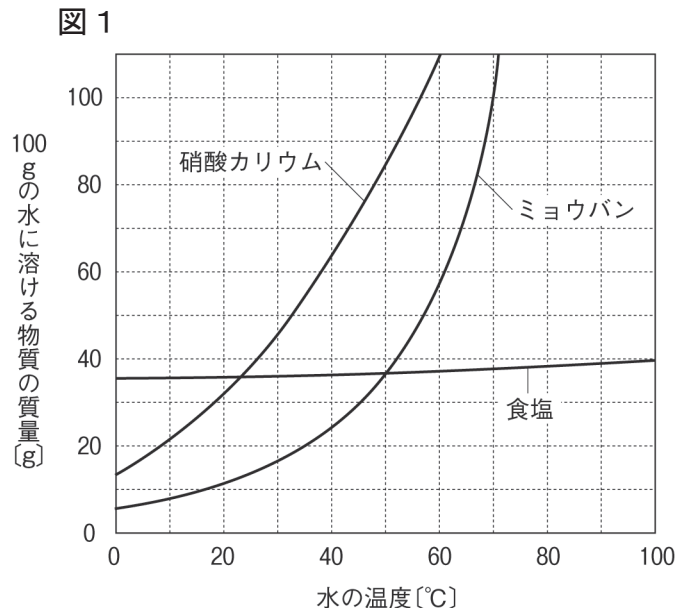


# 水溶液の性質 (4)

【1】図1は硝酸カリウム、ミョウバン、食塩の溶解度曲線である。

図2のように、それぞれ100gの水が入ったビーカーA～Cに Aには硝酸カリウム30g、Bにはミョウバン30g、Cには食塩30gをとかず実験をおこなった。  
以下の問題に答えなさい。



(1) 下のア～オの文章は、硝酸カリウム、ミョウバン、食塩のうち、どの物質について説明したものか。

当てはまるものをすべて ( ) に書きなさい。

ア) 水の温度によって、溶解度が大きく変化する。  
( **硝酸カリウム、ミョウバン** )

イ) 水の温度によって、溶解度がほとんど変化しない。  
( **食塩** )

ウ) 水の温度が20°Cのとき、全部とけた。  
( **硝酸カリウム、食塩** )

エ) 水の温度が40°Cのとき、ビーカーの水溶液が飽和している。  
( **ミョウバン** )

オ) 水の温度が60°Cのとき、全部とけた。  
( **硝酸カリウム、ミョウバン、食塩** )

(2) 水の温度を10°Cに下げると、ビーカーA、B、Cの中のようなようになるか。

- A ( **硝酸カリウムの固体が出てくる** )
- B ( **ミョウバンの固体が出てくる** )
- C ( **変わらない** )

(3) ビーカーCから食塩の固体を取り出すには、どうするとよいか。

答え ( **水を蒸発させる** )

(4) 一度水にとかした物質を再び固体として取り出すことを何というか。

答え ( **再結晶** )

(5) (4) は物質の何の差を利用しているか。

答え ( **溶解度の差** )

図2

